

令和4年度修了式 式辞【生徒の皆さんへ贈る言葉】

春の日差しに、山々の桜は目を覚まし、野の花々が力強く花開く季節となりました。先日咲き始めた吉田中学校の桜もみなさんの1年間の頑張りを称えているかのようです。



65名の在校生の皆さん、各学年の修了おめでとうございます。今日、1、2年生65名が揃って、令和4年度の教育活動を無事に修了し、修了式を迎えることができたこと、とても嬉しく思います。皆さん、今年度1年間、よく頑張りましたね。

皆さんが手にした修了証は、皆さんが今年1年、自分自身の目標の実現を目指し、それぞれの学年の学習などに粘り強く取り組み、修了したことを証明するものです。また、皆さんがこの修了証を手にするのは、皆さんだけの力だけではなく、先生方やご家族の方、地域の皆さんの温かいご支援があったおかげです。ぜひ、感謝の気持ちを忘れずにいてください。今日は、ぜひ、ご家族に今年1年の感謝の気持ちを伝えるようにしてください。

さて、本日をもって、令和4年度が修了しますが、今年1年を振り返って、皆さんは何を思うのでしょうか。

今年1年、皆さんは授業や学校行事、部活動などを通して、たくさんの体験や経験をしてきました。1年前の自分と今の自分を比べて自分自身の成長を感じられているのでしょうか。私は皆さんを見てきて、この1年、それぞれが確実に成長してきたと感じています。学年集団としても、その質を向上できたと思います。皆さんがこの1年間、一つ一つの活動に全力で取り組んできたこと、そして、大きく成長したことは、私の誇りです。

今年度はサッカーのワールドカップや先日の野球のWBCなどの大きなスポーツの国際大会が行われました。野球の日本代表の劇的な優勝に大変盛り上がっていますね。その姿に勇気や元気をもらった人もたくさんいたことと思います。私は、日本チームの活躍に日本人として誇らしく感じるとともに、人の可能性についても考えさせられました。日本代表の選手たちは、皆それぞれが自分の夢や目標を日々の努力で実現してきた人たちなのだと思います。しかし、彼らが特別な人たちということではないと思います。誰にでも夢や目標はあり、それを実現するための努力をすることはできるはずです。すべての人に未来への可能性は与えられているのです。今年度の卒業生の中にも、将来プロのサッカー選手として活躍したい、柔道の全国大会で優勝したいという大きな志を語ってくれた先輩たちがいました。

もちろん、皆さん一人一人の中に、未来への可能性の種はあるのです。その種が芽吹き、大きく育ち、花を咲かせるためにどうすればよいかということが重要なのです。それは、中学時代に自分磨きをしっかりとすることだと考えます。中学時代は、将来社会に貢献できる人としての大切なマナーや心構えを身に付ける大切な時期です。それと同時に、自分の良さに気づき、好きなことを見つけ、得意なことを磨くことができる時であるともだと思います。

私は皆さんに、1年間を通して「挑戦すること」や「自分の考えをもつこと」「他者への思いやりをもつこと」の大切さ、自立の土台としての「時・場・礼」の実践を行う必要性について、皆さんに話をしてきました。これらのことは、「夢や目標」に一步でも近づくために必要なことであると考えます。

ぜひ、皆さんが積み上げた今年度の努力と成長を新しい年度につなぎ、新年度になっても、常にこれらを継続して取り組んでいってほしいと思います。

1年生の皆さんは、4月からは中学校ではじめての後輩を持つこととなります。後輩たちのよき見本としての先輩であってほしいと思います。後輩たちには優しく、中学校の入学を迎えてあげてください。

また、2年生の皆さんは、いよいよ吉田中学校の最高学年となります。修学旅行など中学校における最大の行事も予定されています。4月からは下級生のあこがれの存在になることはもちろん、吉田中学校のよきリーダーになることを期待しています。そして、一人一人が夢や目標に向かって努力を続け、自分の人生を切り開いていくことを願います。

明日から始まる春休みでは、健康で安全な生活を送ることはもちろんのこと、吉中生一人一人が、「なりたい自分」をしっかりとイメージし、新鮮な気持ちで新しい学年を迎える準備をして欲しいと思います。

それでは、4月に元気な皆さんに会えることを期待し、令和4年度修了式の式辞とします。